

平成25年度 宮津市 9月補正予算の概要

会 計		補正前予算額	補正予算額	計	対前年同期比	
					伸 率	H24 9月補正後
		千円	千円	千円	%	千円
一 般 会 計		10,912,251	109,835	11,022,086	1.0	10,917,159
特別 会計	介 護 保 険 事 業	2,588,480	29,528	2,618,008	10.2	2,374,737
	簡 易 水 道 事 業	254,943	20,006	274,949	10.4	306,979
	下 水 道 事 業	1,432,301	83,600	1,348,701	12.5	1,541,680
	吉 津 財 産 区	2,129	494	2,623	57.8	1,662
	そ の 他	3,118,476		3,118,476	5.7	3,308,720
	計	7,396,329	33,572	7,362,757	2.3	7,533,778
水 道 事 業 会 計		616,613		616,613	1.2	624,041
合 計		18,925,193	76,263	19,001,456	0.4	19,074,978

< 9月補正予算の概要 >

一般会計：「海の京都」や「農商工観連携」など『宮津再生の力』を育む予算をより充実・強化するための事業や、府の内示等に伴う「福祉の推進」に係る事業などについて、約1億1千万円の追加補正を行うもの。（人件費関係の補正も併せて実施）

特別会計：介護保険事業特会（国支出金等の精算）、簡易水道事業特会（統合簡水の事業追加）、下水道事業特会（国庫内示減の反映）、吉津財産区特会（集会所整備支援）を補正するもの。（人件費関係の補正も併せて実施）

平成25年度宮津市9月補正予算(案) 主要事業の概要

『宮津再生の力』を育む予算をより充実・強化するための追加補正

平成25年度当初予算は、「みやづビジョン2011」の重点戦略やアクションプログラムに基づく取組みを一層本格化させるとともに、「宮津再生」を市民協働で推し進めていくための「力」を育てていく予算として編成したところ。今回の補正予算は、重点的に取り組んでいる「海の京都」や「農商工観連携」に係る動きをより一層充実させるための事業、また、府の内示等に伴って早期に事業着手する必要がある「福祉の推進」に係る事業等に、追加補正するもの。議員報酬の減額措置の継続実施や、職員給与等の独自措置に加えて行った減額措置、人事異動に伴う配置等を反映させ、約1千万円を減額補正するもの。充実・強化するための事業追加と人件費関係の減額等を合わせた補正予算規模は約1億1千万円(の追加・増額)となるもの。

<「みやづビジョン2011」を本格化(基本施策・市民との協働)>

(単位:千円)

	事業名	予算額	財源内訳		事業の概要	平成25年度 既決予算額	部局名	説明資料
			特定財源	一般財源				
観光を基軸とした産業振興								
新規	海の京都事業拠点整備関連事業	8,000	府	4,000	4,000		企画総務室	1
充実	農商工観連携推進事業	8,350	諸	1,855	6,495	当初 3,800	産業振興室	2
新規	地域特産物育成事業	1,600	府	800	800		産業振興室	
充実	元気な営農推進事業	1,360	府	560	400	当初 800	産業振興室	3
充実	有害鳥獣対策事業	2,176	府	1,818	102	当初 11,409	産業振興室	4

(単位:千円)

	事業名	予算額	財源内訳		事業の概要	平成25年度 既決予算額	部局名	説明資料
			特定財源	一般財源				
教育の充実と人材育成								
新規	社会教育活用施設整備事業	31,200	市債	30,300	900		教育委員会	5
充実	公民館整備事業	2,200	繰入 市債	550 1,700	50	当初 4,300	教育委員会	
新規	bjリーグ誘致事業	500			500		教育委員会	6
健康増進と福祉の推進								
新規	北部地域包括支援センター整備費補助事業	1,000	府	1,000	0		健康福祉室	7
新規	在宅療養多職種連携事業	800	府	800	0		健康福祉室	8
充実	民間保育園運営事業	8,079	府	8,079	0	当初 340,518	健康福祉室	
暮らしの基盤の整備								
充実	北近畿タンゴ鉄道経営支援事業	2,831	市債	2,800	31	当初 129,064	企画総務室	9
充実	公共交通利用促進事業	1,100	諸	550	550	当初 5,500	企画総務室	10

(単位:千円)

	事業名	予算額	財源内訳		事業の概要	平成25年度 既決予算額	部局名	説明資料
			特定財源	一般財源				
充実	道路新設改良事業	16,000	市債 16,000	0	安心・安全で快適な生活環境づくりのための道路整備(竹ノ本線に係る工事費追加)	当初 20,889 6月 18,900	建設室	
充実	「命の里」生活環境整備事業	6,500	府 4,330 市債 1,600	570	道路・水路等の生活基盤整備(日置地区)に係る追加工事実施 府の内示	当初 13,500	建設室	11
充実	住宅耐震化促進事業	2,600	国 810 府 900	890	木造住宅改修助成制度による耐震化及びリフォーム工事への支援の追加 国・府予算の活用	当初 9,610	建設室	

(単位:千円)

事業名	海の京都事業拠点整備関連事業 (天橋立駅駅前広場リニューアル)		新規	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略		8,000		4,000			4,000
補正理由	海の京都戦略拠点づくりに向けた「海の京都」天橋立地区マスタープランがH25.7月に決定され、関係者で各取組を進めていくことが合意されたため。			(参考)補正後予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				8,000	府	市町村未来づくり交付金		4,000	
目 的 ・ 目 標	「海の京都」構想における宮津市の戦略拠点である「天橋立」をさらに魅力ある観光地としていく。		背 景 ・ 経 緯	府北部をとりまく社会基盤整備に合わせ、北部地域を全国有数の観光地にするため、「海の京都」構想のもと、府・市町・民間が一体となり、H27をターゲットイヤーとして魅力ある観光まちづくりを進めている。 本市においては、その戦略拠点を「天橋立」として文珠地区・府中地区を集中的に整備していく。 H25.4 「海の京都」天橋立地区協議会発足 H25.7 「海の京都」天橋立地区マスタープラン決定					
事業概要	当地の主要施設である天橋立駅駅前広場等のリニューアルを行い、観光交流拠点としての充実を図るとともに、「海の京都」民間活力・景観形成のリーディングプロジェクトとする。		期待される 効果						
	天橋立駅駅前広場等調査設計業務 8,000千円 (整備内容等)		【みやづビジョン2011以外の計画】						
	・「駅に着いたら白砂青松」をコンセプトに天橋立をイメージし、景観形成に資するデザイン				25 年度策定	天橋立地区マスタープラン		計 画 期 間	年度まで
	・駐車場やバス停等位置の移設				25 年度策定	「海の京都-丹後・中丹魅力ある観光まちづくり」構想			年度まで
	・路盤整備、駅舎ファサード等の変更				年度策定				年度まで
(予定スケジュール)				【市民参加の状況】					
・H25.10~H26.3 設計				【先進性】					
・H26.4~H27.3 工事									
 <p>【天橋立駅駅前広場完成イメージ】</p>				担当室・係		企画総務室 企画係		TEL 45-1601	

(単位:千円)

事業名	農商工観連携推進事業・地域特産物育成事業		充実	補正予算額	財 源 内 訳													
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源									
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略		9,950		800		1,855	7,295									
補正理由	国の「地域力創造のための起業者定住促進モデル事業」の採択を受け、農林水産業の6次産業化に取り組むもの。		(参考)補正後予算額	特定財源の内訳														
				府 諸	市町村未来づくり交付金		800											
目 的 目 標	外部専門家・外部人材を活用して、農商工観連携及び農林水産物のブランド化、6次産業化を推進する。		背景 経緯	農林水産業はもとより、他産業と相乗的に成長するには、6次産業化、農商工観連携などをさらに進めていく必要がある。 外部の視点から、本市における成長分野の開発・育成の推進を図るために、外部人材の活用を行い、効果的に農林水産業の成長産業化等を図る。														
事業概要	外部協力者の活用 2,000千円 国から派遣される外部専門家(地域力創造アドバイザー)と協力して専門的・技術的な助言・指導を行う外部協力者の受入りに係る経費(謝金、旅費ほか)。 ・派遣内容 農業生産(オリーブ)の育成技術指導ほか		期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな特産品開発とブランド化・高付加価値化 ・観光客をターゲットにした外貨獲得 														
	地域おこし協力隊の募集・委嘱 6,350千円 都市住民を「地域おこし協力隊」として委嘱。その受入りに係る経費(隊員募集経費、隊員活動経費ほか)。 隊員は定住・定着を図りながら地域協力活動に従事 ・募集人員 3人 ・活動内容 農林水産物(ナマコ・オリーブ等)の6次産業化・地産地消を推進するための活動、農商工観連携会議への参画			【みやづビジョン2011以外の計画】														
	【地域力創造のための起業者定住促進モデル事業のスキーム】			<table border="1"> <tr> <td>22 年度策定</td> <td>宮津市地産地(商)消推進計画</td> <td rowspan="3">計画 期間</td> <td>25 年度まで</td> </tr> <tr> <td>24 年度策定</td> <td>水産物ブランド化アクションプログラム</td> <td>27 年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> </table>					22 年度策定	宮津市地産地(商)消推進計画	計画 期間	25 年度まで	24 年度策定	水産物ブランド化アクションプログラム	27 年度まで	年度策定		年度まで
	22 年度策定	宮津市地産地(商)消推進計画		計画 期間	25 年度まで													
24 年度策定	水産物ブランド化アクションプログラム	27 年度まで																
年度策定		年度まで																
<p>外部専門家</p> <p>外部協力者</p> <p>宮津市</p> <p>地域おこし協力隊員</p> <p>スペシャリストの指導・助言</p> <p>地域活動への協力</p> <p>専門的・技術的な指導・助言</p> <p>協力</p>		【市民参加の状況】 連携会議には、関係機関に参画いただき、協議検討を進めるもの。																
地域特産物育成事業 1,600千円 新規作物(オリーブ)栽培の導入実証を行う。 ・実証ほ場用苗木の購入・実証ほ場用防護柵資材の整備		【先進性】																
担当室・係				産業振興室 農林水産係		TEL		45-1626										


(単位:千円)

事業名	元気な営農推進事業		充実	補正予算額	財 源 内 訳														
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源										
ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略		1,360		960			400										
補正理由	規模拡大を図る中核的担い手（集落営農組織、認定農業者等）が取り組む農業機械設備の整備を支援する。			(参考)補正後予算額	特定財源の内訳														
				2,160	府	農業経営構造対策事業費補助金	560	府	市町村未来づくり交付金	400									
目的・目標	人・農地プラン（京力農場プラン）の中核的担い手として位置付けられた集落営農組織又は認定農業者等が行う、経営規模を拡大するために必要な農業機械設備整備に対して支援を行い、担い手の育成とともに、経営基盤の強化を図る。			背景・経緯	地域農業のあり方、集落（地域）の農業の進む方向などを地域で話し合い、今後5年間の具体の取組をまとめたプランを策定し、同プランに位置付けられた担い手に対する支援を行うこととしている。														
事業概要	人・農地プランに位置づけられた集落営農等の設備整備への支援 1,360千円			期待される効果	中心となる担い手の経営基盤の安定化														
	(1)農業経営構造対策事業（国制度活用による府補助） 560千円 人・農地プラン（京力農場プラン）に中核的担い手として位置付けられた認定農業者が、融資を受けて導入する農業用機械等整備を支援するもの。 対象者：和久田ファーム（波路・認定農業者） 内 容：パイプハウス1棟の整備 事業費：1,883千円（補助率3/10）				【みやづビジョン2011以外の計画】														
	(2)集落営農条件整備支援（市制度） 800千円 人・農地プラン（京力農場プラン）に中核的担い手として位置付けられた集落営農組織が、活動に必要な農業用機械等の導入を支援するもの。 対象者：小田宿野営農組合（小田宿野・集落営農組織） 内 容：乾燥調製機器1式の整備 事業費：4,000千円（補助率4/10・上限800千円）			<table border="1"> <tr> <td>25 年度策定</td> <td>波路地域京力農場プラン</td> <td rowspan="2">計画期間</td> <td>29 年度まで</td> </tr> <tr> <td>25 年度策定</td> <td>小田宿野地域京力農場プラン</td> <td>29 年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> </table>					25 年度策定	波路地域京力農場プラン	計画期間	29 年度まで	25 年度策定	小田宿野地域京力農場プラン	29 年度まで	年度策定			年度まで
	25 年度策定	波路地域京力農場プラン	計画期間	29 年度まで															
	25 年度策定	小田宿野地域京力農場プラン		29 年度まで															
年度策定			年度まで																
参考 現在策定済みの人・農地プラン（京力農場プラン）は、日置地域、波路地域、小田宿野地域の3地域。			【市民参加の状況】 プランは、地域農業者等の話し合いにより策定されるもの。																
			【先進性】																
			担当室・係	産業振興室 農林水産係		TEL	45-1626												

(単位:千円)

事業名	有害鳥獣対策事業		充実	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略		2,176		1,818		256	102
補正理由	従来の捕獲体制に加え、増加傾向にあるシカ、サル等を新たな手法により捕獲する。(国事業及び府事業の活用)		(参考)補正後予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
				府	緑の公共事業費補助金			1,418	
				府	広域有害鳥獣捕獲事業委託金			400	
目 的 目 標	シカ、サル等の野生鳥獣被害に対応するため、個体数調整のための捕獲駆除対策を推進することにより、農業被害を減少させる。		背 景 経 緯	ニホンジカは、京都府が定める特定鳥獣保護管理計画を上回る捕獲実績となったが、減少の兆しが見えていない。 また、捕獲班員の高齢化、猟銃所持者の減少など、担い手の確保が困難な状況。 こうしたことから、国の制度等を活用し緊急捕獲対策を実施する。					
				期待される効果 ニホンジカ等、有害鳥獣の捕獲による農業被害・生活環境被害の減少					
事業概要	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業(国制度) 404千円 従来の手法に加え、新たな捕獲方法による捕獲を実施する。(H25から3年間)			【みやづビジョン2011以外の計画】					
	・対 象 ニホンジカ・ニホンザル			23 年度策定	宮津市鳥獣被害防止計画		計 画 期 間	25 年度まで	
	・手 法 くくりわな・囲いわな・囲い込み猟			25 年度策定	宮津市緊急捕獲等計画			27 年度まで	
	・委託料 従来委託料(4千円/頭)に4千円を上乘せし、8千円/頭とする。 また、囲い込み猟に係る捕獲員出動報酬・猟犬使用料			年度策定				年度まで	
	・期間等 平成25年7月1日～平成26年3月31日			【市民参加の状況】					
広域捕獲の実施(国制度活用による府委託事業) 456千円 与謝野町と連携し広域的に行う有害鳥獣の捕獲・駆除を実施する。			【先進性】						
・対 象 ニホンジカ・イノシシ			担当室・係 産業振興室 農林水産係 TEL 45-1626						
・手 法 囲い込み猟									
・委託料 捕獲員出動報酬、猟犬使用料等									
・時 期 平成25年10月～11月の間の1日									
シカ捕獲強化事業(府制度) 1,316千円 狩猟期間中のニホンジカの捕獲を推進するための奨励金を支給する。 (有害鳥獣捕獲数の伸び悩みに伴う総合的な捕獲対策。H25から2年間)									
・対 象 ニホンジカ									
・手 法 くくりわな、囲い込み猟等手法は問わない。									
・奨励金 4千円/頭(ただし、4頭目から10頭目までに限る。)									
・期間等 狩猟期間中(平成25年11月15日～平成26年2月28日)									

(単位:千円)

事業名	社会教育活用施設整備事業 (由良地区社会教育活用施設改修工事)		新規	補正予算額	財源内訳														
					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源										
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略		31,200			30,300		900										
補正理由	旧由良小学校校舎撤去に伴う関連工事と併せて、由良地区社会教育活用施設(屋内運動場)のバリアフリー化、老朽箇所のリフレッシュ工事を行なうもの。		(参考)補正後予算額	31,200	特定財源の内訳														
					市債	過疎対策事業債			30,300										
目的 目標	施設のバリアフリー化、老朽箇所のリフレッシュ工事により利用者の利便向上を図る。		背景 経緯	平成25年3月の由良小学校の廃校に伴い、4月から屋内運動場及び屋外運動場を社会教育活用施設として、地元住民を中心に活用している。															
事業概要	由良地区社会教育活用施設(屋内運動場)改修工事 工事請負費 28,000千円 設計監理業務委託料 3,200千円 合計 31,200千円 工事の概要		期待される 効果	由良地区社会教育活用施設(屋内運動場)の整備により、社会教育・社会体育の推進と地域振興に資する。															
	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化：スロープ(アプローチ)整備、身体障害者用トイレ整備 ・トイレ整備等：既存トイレ撤去、屋内運動場内トイレ新設、玄関整備等 ・老朽化対応：出入口庇取替、建具(扉)改修等 ・校舎撤去関連工事：浄化槽新設、自動火災報知設備新設等 			【みやづビジョン2011以外の計画】															
				<table border="1"> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td rowspan="3">計 画 期 間</td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> </table>						年度策定		計 画 期 間	年度まで	年度策定		年度まで	年度策定		年度まで
				年度策定		計 画 期 間	年度まで												
				年度策定			年度まで												
年度策定		年度まで																	
【市民参加の状況】 由良地区社会教育活用施設(屋内運動場)の利用状況 H25.4~7月(4ヶ月間) 117件 主な利用：少年剣道教室、空手道教室、バドミントン、ソフトバレー																			
【先進性】																			
担当室・係			教育委員会事務局総括室 社会教育係 TEL 45-1642																

(単位:千円)

事業名	bjリーグ(プロバスケットボールリーグ)誘致事業		新規	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略		500					500
補正理由	平成21年からプロバスケットボールリーグ(bjリーグ)に加盟している京都ハンナリーズのホームゲームを誘致するもの。		(参考)補正後予算額	500	特定財源の内訳				
目的 目標	bjリーグを誘致し、一流スポーツを「みる」・「体感できる」場の充実により競技スポーツの振興を図るとともに、子どもたちがトップレベルの競技者から直接指導、助言を受けることにより子どもスポーツの充実を図る。		背景 経緯	市民体育館アリーナ等床面改修(平成24年度)、バスケットボールゴール購入(平成25年度)により、宮津市民体育館でのプロバスケットボールリーグの開催が可能となった。					
事業概要	bjリーグ開催支援補助金 交付先 スポーツコミュニケーションKYOTO(株) 補助金額 500千円 開催日等 平成26年3月22日~23日 宮津市民体育館 内 容 ・京都ハンナリーズホームゲーム2試合(京都ハンナリーズ 対 滋賀レイクスターズ) ・地元ミニバスケットボールチームへのクリニック ・ホームゲーム前座試合(地元バスケットボールチーム)等		期待される 効果	本市でのbjリーグ開催により、一流スポーツを「みる」環境づくりと「トップレベルの競技者に触れる」ことができる場面づくりによる“競技スポーツの充実”を図る。あわせて、地域経済の活性化、観光振興にも資する。					
	参 考 京都府北部開催の京都ハンナリーズゲーム ・10/26~27 舞鶴文化公園体育館 対浜松・東三河フェニックス ・11/30~12/1 福知山三段池公園総合体育館 対富山グラウジーズ ・1/4~5 福知山三段池公園総合体育館 対大分ヒートデビルズ			【みやづビジョン2011以外の計画】		計 画 期 間		29 年度まで 年度まで 年度まで	
				【市民参加の状況】		市民体育館利用状況		H23年度 73,513人(うちバスケットボール利用状況 5,911人(191件)) H24年度 70,875人(うちバスケットボール利用状況 4,318人(150件))	
				【先進性】					
		担当室・係		教育委員会事務局総括室 社会教育係 TEL 45-1642					



ミニバスケットボール クリニック



京都ハンナリーズゲーム

(単位:千円)

事業名	北部地域包括支援センタ - 整備費補助事業		新規	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略		1,000		1,000			
補正理由	平成25年10月に開設の北部地域包括支援センタ - を運営する社会福祉法人が実施する施設整備に対し、京都府の介護基盤緊急整備等特別対策事業を活用し、補助を行うもの。			(参考)補正後予算額	特定財源の内訳				
				1,000	府	介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金			1,000
目 的 ・ 目 標	高齡化の進展に伴い、一人暮らしや高齡者のみの世帯、認知症高齡者の増加が予想される中、高齡者が住み慣れた地域で安心して生活を送るため、介護・予防・医療・生活支援・住まいの各サ - ビスが切れ目なく一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築する中核的機関である地域包括支援センタ - の機能強化を図る。		背 景 ・ 経 緯	高齡者人口の増加が急激に進んでおり、高齡者の支援体制の構築は急務となっている。 高齡者が住み慣れた地域で安心して生き生きと暮らせるまちづくりを実現するため、地域包括支援センタ - の機能強化を早急に図る必要がある。					
事業概要	北部地域包括支援センタ - の整備補助 1,000千円 整備法人 社会福祉法人成相山青嵐荘 建設予定地 宮津市字江尻 約200㎡ 事業費 15,000千円～20,000千円(予定) 北部地域包括支援センタ - は、平成25年10月1日より、日置地内で運営を開始し、今般の施設整備後(平成26年3月予定)に移転予定 担当地域 府中・日置・世屋・養老・日ヶ谷地区 対象人口 3,979人 高齡者人口:1,673人(平成25年6月30日現在) 体 制 主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師又は看護師のうち、2職種各1名を配置		期待される 効果	北部地域の市民にとって、より身近なところで相談ができ、また、迅速な対応が期待できる。					
	【みやづビジョン2011以外の計画】								
	23 年度策定		第6次宮津市高齡者保健福祉計画			計 画 期 間	26 年度まで		
	23 年度策定		第5期宮津市介護保険事業計画				26 年度まで		
	年度策定		年度まで						
【市民参加の状況】									
【先進性】									
担当室・係	健康福祉室 地域福祉係		TEL	45-1618					

事業名	在宅療養多職種連携事業		新規	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略		800		800			
					特 定 財 源 の 内 訳				
					府	地域包括ケア総合交付金			800
補正理由	京都府の多職種連携在宅療養支援事業を活用し、医療・介護・福祉関係者の連携を強化し、在宅療養体制の推進を図るもの。			(参考)補正後予算額					
				800					
目 的 目 標	地域の医療・介護・福祉関係者に対して、在宅療養に関する基礎的知識や技能に関する研修を実施し、関係する多職種の顔の見える関係(多職種協働連携ネットワーク)を構築し、地域の在宅療養体制の推進を図る。			背 景 経 緯	高齢者人口の増加に伴い、住み慣れた家・地域での生活を支えていく医療・ケアの充実が必要となってきた。				
事業概要	在宅療養における多職種連携の推進 800千円 在宅療養の基礎的知識や技能に関する研修会を開催し、今後の多職種連携のネットワークづくりにつなげる。 参加者：地域のかかりつけ医、歯科医師、訪問看護師、薬剤師、ケアマネ、介護事業所職員、地域包括支援センター職員など 内容：在宅療養に関する講演会、参加者によるグル-プワ-ク等 実施回数：2回			期待される 効果	高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせる。				
	【参考】 当該研修の企画・運営にあたっては、府が養成した在宅療養コーディネーターと協働して実施する。			【みやびビジョン2011以外の計画】					
					年度策定		計 画 期 間	年度まで	
					年度策定			年度まで	
					年度策定			年度まで	
			【市民参加の状況】						
			【先進性】						
			担当室・係	健康福祉室 介護予防係		TEL	45-1620		

(単位:千円)

事業名	北近畿タンゴ鉄道経営支援事業(新デザイン車両導入支援)		充実	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略		2,831			2,800		31
補正理由	沿線協議において、新たにデザイン車両の導入を関係自治体一体となって支援していくことが合意されたため。			(参考)補正後予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				131,895	市債	過疎対策事業債(ソフト分)		2,800	
目 的 目 標	魅力ある新デザインのリニューアル車両の追加導入及び車内サービスの充実により、新規顧客の開拓とリピーターを確保することでKTR収益の改善を図る。			背 景 経 緯	H25.4月から丹後あかまつ・あおまつが運行し、約2倍(輸送人員ベース・対前年同時刻列車比)と好調に推移しているが、土日を中心に満席が続出し、また貸切運行が困難であり、旅行会社の要望に応えられないなど、収益機会を逃している。				
事業概要	KTR再生事業補助金 2,831千円(補正後の予算:26,874千円) 4月から丹後あかまつ号・あおまつ号が運行開始し、好調に推移する中で、乗客からのニーズが多様化しており、更なる改造車両の導入を支援するもの。			期待される 効果	新デザイン車両導入による域外観光客の誘客				
	事業内容:新デザイン車両を導入(リニューアル改造1両)。 車内で飲食物を提供できる設備を追加。 運行開始は26年5月を予定。 事業費 30,000千円(自治体100%)			【みやつビジョン2011以外の計画】					
				年度策定		計	年度まで		
				年度策定		画	年度まで		
				年度策定		期	年度まで		
			【市民参加の状況】						
			【先進性】						
			担当室・係	企画総務室 企画係		TEL	45-1601		

事業名	公共交通利用促進事業(低料金バス社会実験スタート)		充実	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略		1,100				550	550
補正理由	宮津与謝エリアにおいて低料金バス導入の社会実験をH25.10からスタートすることについて関係者の合意が得られたため。		(参考)補正後予算額	6,600	特 定 財 源 の 内 訳				
					諸	地域協働推進事業費補助金			550
目 的 目 標	地域住民(特に生活弱者)の移動環境の格差是正 丹後半島全体の公共交通利便向上 KTRとバスを組み合わせた観光商品造成の環境整備		背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H18.10 京丹後エリア低料金バススタート ・H19.10 同上エリア拡大 ・H23.8~ 宮津与謝エリアの拡大について関係市町長協議を開始 ・H25.2~ 関係市町・関係機関合意 ・H25.5 各市町地域公共交通会議で合意 					
事業概要	低料金バスの運行スタートにあたり、公共交通機関のさらなる利用促進のためのPR費用等を補正するもの。(2市2町共同歩調での取組) 公共交通総合時刻表の作成 (内容案) ・運行ダイヤ・路線図・運賃表(バス・KTR) ・市内エリア別バス停マップ ・丹後広域マップや観光・おでかけモデルコース ・公共交通利用助成等の案内 利用促進啓発物 のぼり・バスラッピング等 住民説明会の開催		期待される効果	目標値: 現在利用者の1.5倍。304千人 456千人					
				【みやづビジョン2011以外の計画】					
				年度策定		計	年度まで		
				年度策定		画	年度まで		
				年度策定		期	年度まで		
		【市民参加の状況】				・H25.5.28宮津市地域公共交通会議で承認			
		【先進性】							
		担当室・係		企画総務室 企画係		TEL 45-1601			

参考(低料金バスについて)
 1市2町の利用者の主たる目的地である与謝の海病院を起点に
 2ブロックに分割。
 ブロック毎に上限200円化。
 最大割引率70%(1,360円 400円)

運行に係る支援経費は平成26年度以降の予算計上となる。

(単位:千円)

事業名	「命の里」生活環境整備事業		充実	補正予算額	財源内訳																																
					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源																												
ビジョン基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン重点戦略		6,500		4,330	1,600		570																												
補正理由	日置地区の生活環境基盤の追加整備を行うもの。		(参考)補正後予算額	特定財源の内訳																																	
				府	共に育む「命の里」事業費補助金		4,330																														
目的・目標	過疎化・高齢化が著しく進んでいる集落の再生に向け取り組む複数集落の地域連携組織が策定した計画に基づき、生活環境基盤(水路・市道等)整備を図り、元気な里づくりを推進する。		背景・経緯	本事業は、複数集落による地域連携組織が設立され、住民主体による農村地域の活性化に取り組まれる地区において、生活環境基盤の整備を図るもの。 日置地区においては、平成23年11月に地域連携組織「元気な里日置会議」を立上げ、元気な里づくりに向けた実践活動を進めており、この動きに合わせ、平成24年度から生活環境基盤の整備を行っている。																																	
				市債		道路整備事業債		1,600																													
事業概要	過疎化・高齢化が著しい集落の再生に向け、生活環境基盤の追加整備を行う。 【実施箇所】		期待される効果	過疎化・高齢化が著しく進んでいる集落の再生に向け生活環境基盤の充実を図り、元気な里づくりを推進する。																																	
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>当初</th> <th>9月補正</th> <th>主な工種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">日置地区</td> <td>鍛冶道土原線</td> <td>塚原1号線</td> <td>舗装工</td> </tr> <tr> <td>門地大坪線</td> <td>寺戸線</td> <td>水路工</td> </tr> <tr> <td>氷牧川</td> <td>寺の腰西の堀上線</td> <td>護床工等</td> </tr> <tr> <td>井戸小池線</td> <td>立登線</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>寺戸線</td> <td>他</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費 13,500千円</td> <td>事業費 6,500千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		地区名	当初	9月補正	主な工種	日置地区	鍛冶道土原線	塚原1号線	舗装工	門地大坪線	寺戸線	水路工	氷牧川	寺の腰西の堀上線	護床工等	井戸小池線	立登線			寺戸線	他			事業費 13,500千円	事業費 6,500千円		【みやづビジョン2011以外の計画】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度策定</th> <th>計画期間</th> <th>年度まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> </tbody> </table>		年度策定	計画期間	年度まで	年度策定	
地区名	当初	9月補正	主な工種																																		
日置地区	鍛冶道土原線	塚原1号線	舗装工																																		
	門地大坪線	寺戸線	水路工																																		
	氷牧川	寺の腰西の堀上線	護床工等																																		
	井戸小池線	立登線																																			
	寺戸線	他																																			
	事業費 13,500千円	事業費 6,500千円																																			
年度策定	計画期間	年度まで																																			
年度策定		年度まで																																			
年度策定		年度まで																																			
共に育む「命の里」事業費補助(京都府:補助率2/3)			担当室・係	建設室 土木係		TEL		45-1629																													
共に育む「命の里」事業 府民生活を支える「命の里」である農村地域を守り育てていくため、後継者不足や農林地の荒廃など地域の抱える課題を集中的かつ総合的に解決するもの。 【市内の取組状況】 世屋地区:平成21年~24年度 日ヶ谷地区:平成21年~平成24年度 上宮津地区:平成22年~平成24年度 日置地区:平成23年~平成25年度 養老地区:平成25年度~				【市民参加の状況】 地域連携による話し合いにより、元気な里づくりへの課題解決に取り組んでいる。 【先進性】																																	